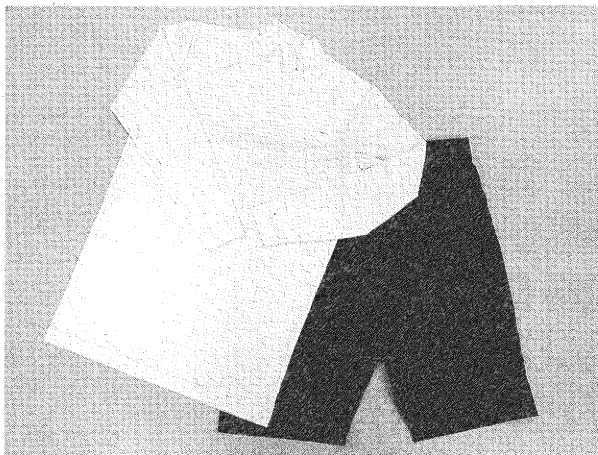


素材メーカーのイチ押し商品

東光リミィ「テラックスクール」



人工鉱石をウェアの生地表にプリントした「テラックスクール」

東光リミィは、冷感機能素材「テラックスクール」で暑さ対策の提案を強め、国内外の幅広い市場での認知度の向上に取り組み。今春夏はスポーツ衣料からワークウェア分野にも販路が拡大し

ており、今後の需要の伸びを見込んでいる。テラックスクールは、独自開発した温感・冷感機能素材「テラックス」プリントをナイロンやポリエステル生地表に加工した。同

プリントは電磁波「テラヘルツ」を発生する人工鉱石を粉末にし、数種類の鉱石や染料、糊剤と混合して染色し、テラックスクールでは体熱の吸収・散や太陽光の遮熱などの特性を発揮する。投入2年目の昨年まで、スポーツ市場

暑さ対策で認知度向上

のOEM(相手先ブランドによる生産)を中心に販路が広がり、販売数量が累計20万枚に達した。今春夏も、ゴルフウェアで紳士・婦人肌着、スラックスなどのアイテムを増やし、すでにシャツは完売状態という。また、農業や造船業の作業着にも需要が広がり、口コミで知った農業従事者が一人で肌着を60枚購入するケースもあるなど、累計40万枚を超える勢い。

夏の異常な暑さが毎シーズン続いており、「作業現場でテラックスの放熱性や遮熱性が期待される」とし、幅広く拡販する。特に防災着、建材としての応用も注目されており、防燃加工も開発中で、用途や販路はさらに拡大する見通しだ。新規に蚊などの虫除け衣料として「テラックスモスベクト」の展開も始める。海外市場でも欧米での商標登録を済ませており、アウトドア分野への拡大を狙う。